

平成29年度 第2回花巻市文化財保護審議会

日時：平成30年2月8日（木）午後3時から午後4時30分

会場：花巻市石鳥谷総合支所 3階 3-2・3-3会議室

----- 会 議 記 録 -----

委員11名中9名出席により、会議成立。

出席者：菊池邦雄委員（会長）、小野義春委員、大森鉄雄委員、阿部茂巳委員、高橋進委員、中村良幸委員、中嶋奈津子委員、大原皓二委員、深澤あかね委員、佐藤教育長、布臺教育部長、村田文化財課長補佐、大内文化財係長、佐藤埋蔵文化財係長、岡本上席主任

1 開 会

村田補佐：平成29年度第2回花巻市文化財保護審議会を開催します。

2 教育長あいさつ

佐藤教育長：お忙しいところ出席いただき、ありがとうございます。委員の皆様には、各分野で今年一年様々調査研究やご指導をいただきまして、ありがとうございます。文化財課と関係機関での事業は順調に推移しております。菊池邦雄会長におかれましては、11月に地域文化功労者表彰を受賞されましたこと、おめでとうございます。

本日は、29年度の事業内容について報告申し上げます。この中で、来年度の方向性についてもご指摘いただきたい。また、協議では、今年度の市指定文化財として、2件諮問いたします。「猫塚家文書 諸御用日記」について高橋委員より、「花巻まつり」について深澤委員より調査していただきました内容を報告いたしますので、ご検討をお願いいたします。

3 会長あいさつ

菊池会長：本日はご出席いただきありがとうございます。本日の会議の主な内容は佐藤教育長から話がありました通り、29年度の事業内容の報告と文化財指定の案件についての検討です。合併当時は文化財指定案件が少なかったが、最近では再び指定案件が検討されるようになり、貴重な文化遺産は文化財指定して保護されるようになることが望ましいと思います。本年度の最後

の審議会ですので、充実した会議となるようご協力いただきたい。

村田補佐：会議資料の確認、配布文書の確認。

4 報 告

平成29年度文化財関係事業報告について

一般文化財＝大内係長より報告

埋蔵文化財＝佐藤係長より報告

質疑：

阿部委員：花輪堤ハナショウブ群落について、保存管理委員会が設置されたようだが、具体的に現状を教えてください。

村田補佐：花輪堤ハナショウブ群落の保存管理検討委員会について、29年7月に設置しました。市保護審からは大森委員に加わっていただき、大学の先生や植物研究の専門の方に委員になっていただき、5名の委員で立ち上げました。検討委員会ではこれまでの経緯を説明し、今後の取り組みについてご意見を頂戴したところです。これを受けて、9月下旬に職員で現地の花茎数調査を実施しました。結果、350強の花茎数を数え、やはり花茎数の減少がみられることがわかりました。2月22日に第2回の検討委員会を実施する予定となっております。その中で、過去の調査研究内容をまとめて、今後の保護へつなげていくかについて検討することになる予定です。また、植生調査を改めて実施したいので、文化庁とも補助金の要望をして計画しているところであり、それらを次の会議にお諮りしたいと考えているところです。

阿部委員：花茎数はずいぶん減っていますね。

村田補佐：28年度の花茎数調査では900本弱と記憶しておりましたが、それからさらに減少しているかと思われまます。実際に調査を実施したのが、9月下旬で、花の時期が終わっていたことも花茎数調査の点では不利な状況であり、探しにくい部分もあったかと思いますが、28年度も同時期に行っていたので、純粹に減少している部分では少ないと思われるが、数の変化だけでは現状がどのような状況なのか判断できないところもあります。

阿部委員：葦（よし等の植物）の指定地内の生育についてはいかがでしょうか。

村田補佐：過去の調査資料を見る限り、葦（よし等の植物）の指定地内での生育は増えているのではないかと思われまます。その点についても、検討委員会において検討していただき、対策を考えていきたいと思ひます。

阿部委員：わかりました。

菊池会長：埋蔵文化財について、馬頭遺跡の調査には何日くらいかかりましたか。

また遺跡標柱について、場所はすでに選定されているのでしょうか。
作業は年度内に終了するのですか。

佐藤係長：約2週間、20日程度かかりました。遺跡標柱については、市内各地区平均的に見ながら、現在調査・検討しているところで、年度内に設置完了させる見込みとなっております。

大森委員：カズクリについて、現状についてお伺いします。

大内係長：カズクリ自生地の管理は、地元の保存会に委託して行っております。

害虫であるクリタマバチの発生があり、防除のため薬剤の散布を2回実施してもらっておりました。7割程度の効果はあったと思われます。今後とも消毒薬剤散布については継続指定保存会の方々に行っていただくこととなります。また、おとしカズクリの実の付きが悪かったが去年は例年並みに実が付いた旨、保存会から話がありました。引き続き保存会の方と連絡を取り合い、状況を見ていくこととなります。

大森委員：櫛やコナラに発生する害虫があり、岩手にはまだ侵入していなかったが最近発見された報告のあるものもあるが、どのように考えていますか。

大内係長：昨年度に、盛岡の樹木医にカズクリを見ていただいているところで、その時点では、クリタマバチ以外の害虫の被害は見られないとのことでした。

大森委員：今後とも害虫が侵入しないよう、気をつけていただきたいと思います。

阿部委員：民俗芸能調査を実施したとのことですが、概況を教えてください。

村田補佐：民俗芸能の団体へアンケート調査を実施しました。内容は以前に県教委が行った悉皆調査の内容を基本として実施しました。10月中に完了した内容を速報的に申し上げますと、やはり後継者不足、構成員の高齢化、関連して用具の修理等にかかる費用の負担が重くなっているなどの課題が挙げられる傾向が見られました。結果については、今回の会議議事録と合わせてお知らせしたいと考えています。

阿部委員：活動していない団体もたくさんありましたか。

村田補佐：指定・未指定含め民俗芸能を行っている団体を対象に調査を実施したところでは、80余団体から回答があり、うち活動しているのは60余団体、中断が14団体とあり、やはり活動ができない団体もあることがわかりました。

5 協 議

(1) 「猫塚家文書 諸御用日記」の花巻市指定文化財の指定について（諮問）

→高橋委員から概要説明。

質疑：

小野委員：猫塚家文書諸御用日記について、今までに解読・調査・解説した資料はありますか。

高橋委員：参考文献に取り上げたものはありますが、それ以外には今のところ出ていない状況です。

(2) 「花巻まつり」の花巻市指定文化財の指定について（諮問）

→深澤委員から概要説明。

質疑：

中村委員：由来の中で、気になる点があるのですが。「豊臣秀吉の家臣・浅野長吉（政）の進言により」について、何か参考にした文献資料はありますか。このころは、花巻城はまだ豊臣配下にあり、まだ南部家の領地になっていないので、これを起源とすると時代的に合致しないことになり、齟齬が出ると思われます。観音祭りから北松齋の祭礼になっていったという流れだけでいいのではないのでしょうか。

高橋委員：北松齋を花巻城に配置（城代）するよう、浅野長吉（政）が進言したことが入ってしまった内容のように見られます。

小野委員：それは北秀愛のことですね。秀愛が早世したため、松齋がその跡を継いでいます。花巻まつりと北松齋は切り離せない関係であり、そのために、北松齋、秀愛親子と浅野長吉（政）の花巻城に関する事柄が花巻まつりにも結びついてしまったのでしょうか。

中村委員：そうだと思います。この件について、確たる参考文献がないのであれば、「豊臣秀吉の家臣・浅野長吉（政）の進言により」を削除されるといいかと思います。それ以外は、問題ないと思われます。

中村委員：花巻まつりのお囃子ですが、テープをガンガン流すのは風流ではないかと思えます。生のお囃子を、せめて町内だけでもできるようにないかと思えます。お祭りはお囃子と一体で成立するものではないかと思えますので、出来れば生のお囃子での花巻まつりができるようにないかと思えます。

大森委員：私もそう思います。この指定を機に、生のお囃子でお祭りが進行していく流れになればいいと思えます。

中村委員：中高生の参加が増えているのであれば、市内の中学校や高校にお願いして生徒さんに覚えてもらうこともできるかと思います。そのように活用していただきたい。

佐藤教育長：花巻小学校では笛と三味線を花巻まつりに備えて練習する機会があります。ただ、花巻小学校だけでは児童数が足りず、市内の他の小学校等にも協力を依頼する必要性が出てきます。学区の枠を超え、協力できる体制づくりが必要になると思います。本日の内容を教育委員会にも諮ることになるので、その場で教育委員会へ協力を申し出ることも考えられます。すぐにできることではないと思いますが、努力目標として検討する必要があると思います。

中村委員：花巻まつり全体を生のお囃子にするのは難しいとしても、各町内では生のお囃子にしていくなど、出来ることから実行していただければいいかと思います。

中村委員：花巻まつりの指定ということは、調書にある通り、山車と神輿、鹿踊りや権現舞など祭りの構成内容を全部含めたものになることでよろしいでしょうか。

佐藤教育長：本来の祭りの構成として、山車と神輿、囃子を指定の構成要件としたいと考えています。おまつりの中で行われる権現舞や鹿踊り等は、イベント的な内容になり、この指定の構成要素には含めて考えておりません。

深澤委員：花巻まつりの由来や、現在まで継承されてきた経緯を考えていただければ、指定するに問題はないと思います。

中嶋委員：無形民俗文化財として指定するにしても、古い文献や山車、衣装、道具等なにか古くから受け継いできたものがあれば、将来的に県指定の候補に取り上げられる可能性も出るかと思います。

菊池会長：以上、質疑を終了します。「猫塚家文書諸御用日記」「花巻まつり」の文化財指定については、承認したとしてよろしいでしょうか。

各委員：異議なし。

菊池会長：名称の修正ですが、市文化財区分の史跡に記述のある「旧好地一里塚」については、正式には「好地旧一里塚」なので、修正していただきたい。

菊池会長：以上で協議を終了します。

村田補佐：長時間ありがとうございました。今後の指定についての流れですが、「猫塚家文書諸御用日記」については所有者から承諾書をいただいておりますので、28日の教育委員会へ議案として提出する予定となります。「花巻まつり」については、保持団体が実行委員会でありますので、今後実行

委員会から承諾をいただくことになる予定です。承諾が得られた時点で教育委員会議へ議案として提出することになります。正式な文化財指定は、それぞれ教育委員会議での議決後の予定となります。

6 その他

村田補佐：事務局からのお知らせです。

1：保護審議会委員の任期について

2：3月21日熊谷家住宅にて実施予定の古民家活用事業について

7 閉会